



森ボラ 通信

第120号 2012年5月20日発行

URL <http://shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆ 「森づくり」との出会い (2012年5月1日)

私の植樹初体験は高校時代に遡ります。貧乏人の多かった寮生にとって休日になると、春には生活費を稼ぐため植樹アルバイトに出かけたものでした。日当は300円でしたが、自炊生活には大助かりでした。植林現場は、樽前山麓の「丸山地区」でトラックに揺られて、埃まみれになって30分ほどの所と記憶しています。戦後間もなく、荒廃した森林を復興させるため、国策で植林活動が活発に行われていたことは後になって知りました。

2年生の春、例によって常連の仲間と植樹アルバイトに参加して、集団でウルシにかぶれました。中でも一番重症だった私は、内股から両手、顔にかけて腫れ上がり炊事、洗濯はおろか文字も書けない状態が続きました。当然テストも受けられず常連の劣等組とともに追試験を受けるという屈辱を味わったのです。これを機会に山に入るのが怖くなり、植樹アルバイトから手を引くことになりました。

その年の秋に父親が突然病に倒れました。それからは送金が滞りがちになり3年生になったころ、ついに授業料が滞納(3ヶ月)し停学予告を受けたのでした。授業料は450円/月でしたから、1週間は休んで学費を稼がねばなりません。植樹アルバイトの復活です。今度は単なる小遣い稼ぎではなく真剣勝負です。真面目に働く私を見て同情したのか、親方からは随分可愛がられました。加えて植林の必要性や「森づくり」の大切さを徹底して教え込まれたように思います。その年(昭和29年)は、洞爺丸台風が本道を襲い森林が壊滅的被害を受けたほか、大火、海難事故など歴史に残る年でありました。その翌年3月、やっとの思いで卒業し社会に飛び出したのでした。

以降、電気通信分野に40年勤めたあと、定年退職を迎えるに当たってセカンドライフの生き方について迷わず畑違いの「森づくり」を選んだのも、青春時代の植樹アルバイトの体験が後押ししたのかも知れません。

丁度そのころ、手にした岩波新書『沙漠を緑に』(遠山征雄著)を読んで、世界を股にかけ親子二代に亘って緑化活動に没頭した壮大なロマンに感動し、直ちに彼ら親子が主宰する協会に入会したのです。そこで5回ほど中国大陸に渡り、砂漠の緑化活動に参加しました。10年前に植林した不毛の沙漠が立派な林となり、昆虫が育み小鳥が飛び交う風景に出会ったときの驚きと感動は生涯忘れられないでしょう。道内では知床100平方メートル運動に参加し、当地には何度か足を運びました。また札幌市の水源の森(奥定山溪)を再生する活動には10年ほど続けました。その他2~3の団体を転々としてきましたが、やっとなりの団体といえる当「森ボラ協会」に巡り合えたときには、すでに70歳になっていました。

今年で入会して6年目になりますが、70歳後半ともなれば体力、気力とも下降線をたどる一方で、協会には戦力になった記憶はありません。さらに最近では、月2~3度の参加に加え冬期は休むなど勝手気ままで、お世話してくれる幹事の皆さんには誠に申し訳ないと思っています。今後とも足手まといにならないよう配慮しながら、体力に合わせてマイペースで参加させていただく我がまますを許してください。

私の「森づくり人生」は、樽前山麓のアルバイトで始まり、「森ボラ」のフィールドでもある樽前山麓(CGCの森、烏柵舞の森)で終ることになるでしょう。車を手放す予定の80歳までお付き合いのほどよろしく願います。(文・吉本)

■ 現場より

◆澄川シイタケ収穫 活動報告 5月3日3名・5日4名

*今年の春は異常気象で雪解けが遅かったために支笏湖の烏柵舞の森の立木調査が延期となりそのため植栽日も延期となってしまいました。

*澄川駐車場地とバイオトイレ前どちらの苗畑も野鼠被害で特にサクラやイタヤカエデの苗は100%近く全周剥皮されてしまった。(北国の森づくりやオイスカ情報では全道現象らしい) 対策を提案して欲しいが森ボラですから忌避剤だけはやめましょう。

*その遅い春は突然やってきて澄川都市環境林のエゾヤマザクラは5月5日には満開になってしまった。(自生木の花は他の木との過当競合で花はてっぺんにしかついていなく植栽木の花数は今年も増えていない)

このような気象はシイタケにはいい影響を与えたようで春子が大豊作でした。連休はじめに一気に気温が上がり雨が来たためと思われます。栽培品種は森産業のにく丸中心でいままで秋の収穫が主でしたが今年は春に突然に異常といえるほどの発生をみました。

4月24日の活動日にはほんのポッチだったものが開いてきたとの湯沢さん情報で急遽有志に電話して5月5日に550個重さにして30Kgを収穫しました。雨に濡れてこうしん末期のシイタケ550個は力自慢の4人でも2回往復となりました。

10月の10周年記念集会用に使うべく現在乾燥中です。一部は湯沢さんがピクルスを作ってくれています。小さいものは当然次回の活動日のお昼用にホダ場に残しておきました。(文・酒井)



◆「都ぞ弥生」百年記念植樹会

5月13日(日)、9時現地集合で参加者7名。主な仕事は昨年の秋に植えたエゾヤマザクラとチシマザクラ、この日に植えるカツラとハルニレの標柱の掘っ立て作業でした。今造園のミニバックホーで穴掘りをしてもらったので標柱5本はしっかりと立ちました。カツラとハルニレの植栽は今造園のプロ達の仕事。11時には予定の作業を終えました。12時から式典開始。植栽の儀式を終えてから昼食をとり解散となりました。

尚、「都ぞ弥生」とは旧制高等学校時代の明治45年(今より100年前)に誕生した北大予科恵迪寮の寮歌で、日本三名歌として全国的に愛唱され、多くの内地学生を北大に誘引しました。北大では校歌をさしおいてあらゆる式典で歌われます。詳しく知りたい方は「都ぞ弥生」百年記念展示、5/20~6/20 北大総合博物館3階展示室において下さい。博物館としても見所沢山です。(文・高野)



■ ひとこま

◆第7回「道新ぶんぶんの森」植樹会 (5月12日(土))

北海道新聞社による支笏湖国有林(1355林班)で植樹祭が開催されました。上は80歳台のご夫婦や次の世帯を担う幼稚園児を含む70名のボランティアの皆さんが参加しました。冬に戻ったような天気の中での植樹祭でしたが、毎回恒例となっている植栽指導は当会員の棟方さんが担当。風の強い日の植栽の注意点としては根が乾き易いので十分に注意する事。穴に埋める時には苗を取り出してすばやく土に戻すことが大切であると何度も強調していました。

それぞれの7班には今回参加した9名の黄色ヘルメットの協会会員が補佐役として付き、650本

のトドマツは1時間足らずで植樹を完了しました。2度目の参加者も見られ手馴れた様子で手早く苗を植えていましたが、初めての小学生は慣れない手つきでお父さんと一緒に教えられた事を思い出しながら一生懸命でした。この子達には大きく育った木を見にきて貰いたいと願うところです。

午後には一部植残し部分に140本のトドマツを追加植栽して春の植樹祭は終わりましたが、今回の色々な面でご指導頂きました道新経営企画局の橋詰部長様に感謝申し上げます。



(文・事務局)

■ お知らせ

◆第10期定期総会が開催されました

第10期定期総会(5月2日15時15分)を開催、横山理事長の挨拶、議長に酒井専務理事のもと、

●第1号議案、第2号議案が提案され全会一致で承認されました。「CGC鳥柵舞の森」の新事業に対しては「契約期間、内容、資金の流れ等をもっと詳しく説明するべき」とのご指摘がありました。今後、新規事業の展開では事前説明等を十分に実施してゆきます。

●第3号議案(役員の変更提案)も承認されました。

詳細はホームページに掲載しました。(文・事務局)

◆森林ボランティア協会 10周年記念事業 参加希望予備調査について

当協会の10周年記念事業は澄川都市環境林において平成24年10月6日(土)に予定されています。お弁当、交通手段等の準備の都合から現時点の参加人数の把握をしたいと思います。「6月作業参加申込書」に別途別枠を作っていますのでチェックをつけて事務局にご連絡下さい。

参加の呼びかけは、会員、家族、賛助会員、協賛団体、森林友好団体などです。ご家族での参加を大歓迎しています。(※開催日が近づきましたら、再度出席のご案内を致します。) 記念事業内容は以下の通りです。皆様のご協力・参加をお願いします。

キャッチフレーズは『森とともに』です。(文・榎棒)

事業	担当者	内容
全体計画	榎棒、市山、酒井、加藤	出席者確認、会計など
セレモニー・昼食会	酒井、田山、湯沢	10周年記念セレモニー、キノコ汁、昼食
森林体験・実演会	高野、矢澤、釣井、津金、大窪	記念植樹、散策、薪割り、炭焼き等
記念誌作成	和田、西野(悧)、佐野、田山	記念誌、会場展示パネル
記念品作成	荻田、西野(澄)	北海道の樹名入り「日本手ぬぐい」

(作業参加申込書に掲載内容)

10周年記念事業の参加希望確認(現在の時点で)

年月日	場所	出席	欠席	御家族の参加予定
平成24年10月6日	澄川都市環境林	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	()名

(天候等の関係で、予備日は平成24年10月13日に設定しています。)

■ 今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・酒井・佐野・高野・津金・西野(榎)・矢澤

※今月から大窪幹事が誕生しました。

審議および決定事項

- 1 24年6月スケジュール → 調整
- 2 幌南小学校野外学習の件・・・6/28(木)3年生100名、7/5(木)6年生90名
- 3 研修旅行検討(奥尻島(ブナ林観察)、襟裳岬(植栽地観察))・・・中止
- 4 10周年記念行事・・・10/6(土)会員の澄川記念行事参加の確認
詳しい内容はP3・出欠は6月参加申込書に掲載
- 5 支笏湖他植栽、下草刈り関連
 - ・ 5/17・18 CGC 烏柵舞の森 植栽作業 アカエゾマツ 1,600本。ミズナラ、ハルニレ各500本
 - ・ 6/4・5日 6/12・13日 北海道CGCの森 下草刈り
 - ・ 6/25・26 CGC 烏柵舞の森 CGC ジャパン 40周年記念植樹祭
 - ・ 6/29 支笏湖復興の森 セブン・イレブンの森、協会単独事業地 下草刈り
 - ・ 6/9 野幌森林公園 下草刈り
 - ・ 6/16 オイスカ青山当別 下草刈り支援
- 6 委員会報告 広報委員会(HPトップページ掲載他) 業務委員会(幹事会変更他)
 助成委員会(大成建設自然・歴史環境基金他) 研修・企画委員会(研修旅行他)
- 7 その他
 - ・ 札幌市都市環境林24年度事業計画案提示件
 - ・ 道みどりの課 ステップ・アップ事業計画
 - ・ 森恋支援・・・第24回森は海の恋人植樹祭参加(3名)
 - ・ ローソン看板作成の件

■ 活動履歴

活動日	行事・活動地	参加数	活動内容
4月19日(木)	澄川/烏柵舞	15/1	林内整備/残雪調査
4月23日(月)	澄川	11	林内整備
4月24日(火) 25日(水)	支笏湖CGC 烏柵舞の森	0	残雪のため中止
4月24日(火)	澄川	13	林内整備
4月27日(金)	ラルズビル	11	臨時幹事会(総会準備)
5月2日(水)	リンテージ	25	第10期定期総会
5月5日(土)	澄川	4	キノコホダ木管理
5月8日(火)	澄川	17	林内整備・毎木調査の準備
5月9日(水)	支笏湖CGC 烏柵舞の森	17	毎木調査
5月10日(木)	支笏湖CGC 烏柵舞の森	16	毎木調査
5月12日(水)	支笏湖ぶんぶんの森	9	第7回道新ぶんぶんの森植樹祭
5月13日(日)	野幌開拓の村	7	「都ぞ弥生」100年記念植樹会支援
5月14日(月)	ラルズビルイ	9	定期幹事会
5月16日(水)	澄川/白旗山	10/2	林内整備・看板/ステップ・アップ研修
5月17日(木)	支笏湖CGC 烏柵舞の森	20	アカエゾマツ1,600本植栽
5月18日(金)	支笏湖CGC 烏柵舞の森	13	ミズナラ・ハルニレ各500本植栽